2026 年 11 月 16 日

各　位

本社所在地　東京都墨田区横網 1-10-5
KOKUGIKAN FRONT BUILDING　3 階

会社名　Bitcoin Japan 株式会社
（旧　堀田丸正株式会社）
代表者　代表取締役社長ＣＥＯ　フィリップ・ロード
（コード番号　8105　東証スタンダード）
問合せ先　執行役員管理本部長　矢　部　和　秀
（TEL 03-6824-9481）

Daimon Robotics との戦略的業務提携契約締結に関するお知らせ
― ヒューマノイドの国内導入・サービス事業の基盤を強化 ―

当社は、2026 年 11 月 13 日開催の取締役会において、HONG KONG DAIMON ROBOTICS TECHNOLOGY CO., LIMITED（香港。以下「Daimon Robotics」といいます。）との間で、日本におけるヒューマノイド及びロボティクスの導入・サービス事業の基盤強化を目的とする戦略的業務提携契約（以下「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1　提携の理由

(1) 本提携の目的及び当社事業における位置付け

当社は、ヒューマノイド等の機体供給に加え、有償の概念実証（PoC）、顧客の現場に合わせた導入支援及び導入後の技術サービスを組み合わせたフィジカル AI 事業の構築を進めております。本提携は、機器販売に加えて、導入・サービスに係る収益機会を広げるための取組みです。

本提携は、2026 年 10 月 16 日に公表した UBTECH グループとの販売提携を、補完するものです。UBTECH グループのヒューマノイド等の機体と、Daimon Robotics が有する触覚センシング、ロボット操作に関するデータ取得・学習技術及び専門エンジニアリングを組み合わせ、日本企業の精密作業を含む用途への対応力を高めることを目指します。

Daimon Robotics は、触覚センサー、ロボットハンド・グリッパー、遠隔操作型データ取得装置、ロボット操作モデル、関連ソフトウェア及びエンジニアリング・ソリューションを開発・提供しています。同社の触覚技術は、対象物との接触状態や力のかかり方等の把握に役立ち、精密な把持・操作を支援します。また、遠隔操作型データ取得装置は、人の動作や物理的相互作用に関するデータを取得し、ロボット操作モデルの学習・評価等に活用するものです。

当社は日本国内の顧客開拓、顧客対応及び導入・一次サポート体制の整備を主導し、Daimon Robotics の専門エンジニアリング、人材候補の紹介及び初期トレーニングを活用することで、技術評価、PoC、現場に応じた調整、システム連携及び国内の導入後支援の能力を段階的に高めてまいります。

(2) Daimon Robotics を選定した理由

Daimon Robotics の公表情報及び当社への提供資料によれば、同社の技術開発は香港科技大学の研究チームを起点に、視覚・触覚センサー、ロボットハンド・グリッパー関連技術、遠隔操作による物理的相互作用データの取得システム、ロボット操作モデル、及び産業向け導入ソリューションを展開しています。

Daimon グループのエンジニアリングチームは、製品供給に加え、顧客の用途や導入現場の状況に応じた技術評価、作業対象物や工程に合わせたロボット機構・エンドエフェクタの調整、既存設備・制御システムとの連携、並びに別途合意する業務範囲・日程・受入基準に基づく PoC の実施等を支援します。また、標準構成では対応が難しい場合には、個別案件向けのソリューション設計や、設置・立上げ・保守に必要な技術支援にも対応します。

当社が Daimon Robotics を選定するに当たり特に重視したのは、触覚関連製品に加え、データ取得、モデルの学習・評価、顧客の現場に応じた仕様調整、システム連携、技術検証及び導入支援に関する同社の専門的エンジニアリング能力です。同社の技術力を国内エンジニアの育成と組み合わせることで、当社が日本企業に提供する導入・技術サービスの範囲拡大を目指します。

2　提携の内容等

（1）対象地域	日本
（2）契約期間	発効日から 2 年間。所定の更新拒絶通知がない場合、1 回に限り更に 2 年間自動更新します。
（3）日本での提携関係	発効日から 6 か月間、Daimon Robotics は当社を日本におけるヒューマノイド及びロボティクスの主要な戦略的導入パートナーとして取り扱い、同期間中、他の者を日本における主要な戦略的導入パートナーに指名しません。Daimon Robotics の既存の販売代理店、直接の顧客関係その他の既存の取決めは維持されます。
（4）主な協業内容	当社による顧客開拓及び国内支援体制の整備と、Daimon Robotics による技術人材候補の紹介、初期トレーニング及び技術支援を組み合わせます。対応可能な複数メーカーのロボット機体を対象に、Daimon Robotics 製品の使用の有無にかかわらず、技術評価、ソリューション設計、日本向け調整、システム連携及び PoC 設計・実行等を検討します。Daimon Robotics の技術・製品を UBTECH 製品等と組み合わせる場合には、対象機種との技術的適合性、製造者による必要な承認、日本の法令・認証要件及び個別案件の条件を確認した上で実施を判断します。個別案件の実施内容及び条件は、案件ごとに別途書面にて合意します。
（5）製品等の販売	当社及び Daimon Robotics は、触覚センサー、ロボットハンド・グリッパー、遠隔操作型データ取得装置、関連ソフトウェアその他合意する製品・サービスについて、日本国内で非独占的な販売・取扱いを進める方針です。正式な販売代理店への指名、対象製品・サービス、価格、注文・納入条件その他の商業条件は、別途締結する販売代理店契約で定めます。
（6）事業拡大の検討	発効日の 6 か月後又はその直後に双方の取組みをレビューし、協議を開始していない場合は 7 か月目に日本での合弁会社の可能性に関する協議を開始します。双方の合意により早期に協議を開始できます。合弁会社の設立、出資及び持分比率は未決定です。
（7）日本での導入を支える法令・認証及びデータ対応	当社及び Daimon Robotics は、本提携の実施に当たり、適用される日本の法令を遵守します。対象製品に適用される日本の認証及び日本向け対応について双方が協力し、Daimon Robotics は合理的に提供可能な製造者資料、技術情報及び技術的説明を提供します。 顧客・現場・案件に係るデータは、日本の法令、顧客の許諾及び案件ごとの条件に従って取り扱います。データの収集、利用、保管、安全管理及び海外移転等の権利・責任は、データの提供前に関連契約で定めます。

3　相手先の概要

(1) 名称	HONG KONG DAIMON ROBOTICS TECHNOLOGY CO., LIMITED
(2) 所在地	Unit 838, 8/F, Building 8, Hong Kong-Shenzhen Innovation and Technology Park, Hong Kong
(3) 代表者の役職・氏名	Director, Duan Jianghua (段江嘩)
(4) 事業内容	高解像度マルチモーダル触覚センシングシステム、ロボットハンド及びグリッパー向けハードウェア・ソフトウェア、データ取得システム、ロボット操作モデル並びに導入ソリューションの開発・提供等
(5) 資本金	2,000,000 香港ドル（日本円約 40 百万円　1 香港ドル＝20.3475 円で換算）
(6) 設立年月日	2024 年 1 月 19 日（香港法人の登記日）
(7) 大株主及び持株比率	戴盟(深圳)機器人科技有限公司が 100%保有
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係：該当事項はありません。 人的関係：該当事項はありません。 取引関係：本件を除き、記載すべき取引関係はありません。 関連当事者への該当状況：当社の関連当事者には該当しません。
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態	相手先は非上場会社であり、最近 3 年間の経営成績及び財政状態に係る情報の提供を受けておらず、非開示を希望しているため、記載しておりません。

4　日程

(1) 取締役会決議日	2026 年 11 月 13 日
(2) 本契約締結日	2026 年 11 月 13 日
(3) 事業開始日	2026 年 11 月 13 日

5　今後の見通し

今後、双方の事業・技術担当者を中心に、国内の支援体制の整備、顧客案件の評価及び販売代理店契約の協議を進めます。

本件が 2027 年 3 月期の当社連結業績に与える影響については現在精査中です。今後、事業の具体化及び個別案件の進捗に伴い、業績予想の修正その他開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以　上